

古紙集団回収補助金を162の地域と団体に交付しました

令和6年度は162の地域と団体により、約1,688tの古紙類が回収されました。古紙類回収を実施する団体に対して、補助金合計約843万9,000円(令和6年度1kgあたり5円)を交付しました。

交付した補助金は、地域の活動に役立てていただいています。この制度についての詳細は、下記のQRコードより詳細をご確認ください。



(令和6年度補助単価)



雑がみを 古紙回収に出そう!

古紙類は分別することで、資源にリサイクルされます。可燃ごみの組成調査では、紙類が3割を占め、リサイクルできる古紙も多く含まれています。とりわけ、雑がみは可燃ごみで捨てられがちです。年度末に全戸配布された「雑がみ図鑑」や「雑がみ保管袋」を活用いただき、雑がみを古紙回収で出し、さらなるごみ減量にご協力をお願いします。

ごみ減量について学ぼう!

ごみ減量を学びたい地域や団体に対して
も講習会を行います。まずは、環境課にご
相談ください。

市内の小・中学校に対し、ごみ減量やSDGs、環境問題をテーマに出前授業を実施しています。令和6年度(令和7年2月末)は13校述べ129クラスで授業を実施しました。雑がみをテーマにした授業では、全戸配布した「雑がみ図鑑」や「雑がみ保管袋」を活用して、古紙類を可燃ごみに出すのではなく、資源回収に出す大切さを授業を通じて学んでもらいました。



◀ 棚倉小学校

▲ 木津小学校



令和6年4月～令和7年1月までの
一日1人あたりの可燃ごみ排出量は、
平均すると**387.5g**です!

ご存じですか、木津川市アダプト・プログラム

市内の道路・河川・公園などの「里親」として、日々掃除や除草、植栽の管理にご協力いただいています。市では、ご協力いただいている団体に対し、掃除用具の貸与やボランティア保険の加入、ごみの回収をしています。令和6年度は、44団体2,253名の方が活動してくださっています。

この制度について関心を持たれた方は、環境課までお気軽にお問合せください。



ボランティア清掃には、ボランティア袋を提供!

自治会の一斉清掃のほか、日常的に道路など気になったごみを自主的に拾ってくださる方が増えています。市では、公共施設等の自治会清掃にごみ袋の支給や回収、個人でごみ拾いをしてくださっている方にはボランティアごみ袋の支給を行っています。

実践されている方は、環境課窓口でお渡ししていますので、ご来庁ください。

ボランティア袋
(可燃ごみ専用)は
20ℓと45ℓの
2種類あります。



実現したい“ごみ減量”の取り組みを応援します!

市民提案型ごみ減量活動等補助金

ごみの減量や再資源化につながる様々な自主的な市民活動に対し、補助金を交付します。補助金の交付には、審議会による審査があります。

応募締め切り
6月20日(金)

上限額**30万円**
(特例あり)

先進的ごみ減量モデル

市全域への展開や、民間事業者を巻き込んだ取り組みのモデルとなる”ごみ減量”や”再資源化”に向けた活動。

上限額**10万円**

地域内ごみ減量等活動

自治会や地域の住民団体が、分別の徹底やリユースなどにより地域内のごみの減量を目指す継続的な活動。

定額**3千円/月**

地域型ふれあい収集

拠点収集の地域で、ごみ出しが困難な世帯と自治会等が助け合ってごみ出しを支援する活動。



令和6年度助成団体(5団体)

きづがわ制服リユース(不要になった制服のリユースを实践)、kichi_lab_art(古本市開催や子ども服交換等、みつろうワークショップ開催など)、特定非営利活動法人手をつないで(フードバンクの取り組み)、6丁目生ごみ堆肥の会(生ごみのたい肥化)、山城ごはん(竹チップコンポストの普及)

[令和7年4月発行]

〈問い合わせ先〉〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9 木津川市役所 市民環境部 環境課
TEL:0774-75-1215(ダイヤルイン) FAX:0774-72-3900 Mail:machibika@city.kizugawa.lg.jp

※この“MOTTAINAI便り”は、循環型社会推進事業の一環として、ごみの“減量”・“再資源化”につながる身近な情報などを隔月で市民の皆さんにお知らせする情報紙です。不要になりましたら、「雑がみ」として古紙回収にお出しいただき、リサイクルにご協力くださいますようお願いいたします。